

東京電力ホールディングス（HD）の小売事業会社である東京電力エナジーパートナー（EPC）は、工場への省エネルギー提案に力を入れてきた。海外に取り組みを広げ、大きな成果を上げたのが、中国の2案件だ。

海外では従来、コンサルティング止まりだったのが、2案件では省エネ機器を実際に納入し、運用するまでに至った。植田旬東電EPC販売本部法人営業部産業ソリューション技

術第一グループマネージャーは「新しいステージに入った」と意義を説く。その一つが広東省の

東京電力エナジーパートナーへ上

モノづくり現場

エレクトロヒート技術最前線 13

中国の工場にヒートポンプ

電着塗装で大幅省エネ



冷・温水を同時供給できるヒートポンプを納入した

アルミニウム製品メーカーの広東華昌鋁廠。窓用アルミサッシを手がける。東電EPCは工場の電着塗装工程にヒートポンプとターボ冷凍機を納入し、2019年7月に稼働。同工程の過去5年間のエネルギー削減量と同じ量を、納入後の1年間で削減する見込みだ。

ヒートポンプは神戸製鋼所製で、冷水と温水を同時に供給できるのが特徴だ。中国にもヒートポンプはあるが、同時供給は日本製の特徴だ。

電着塗装の前処理では油污れやゴミを洗い流すため、温水が必要

になる。工程自体でなっているためだ。当初から4年がけが必要だ。1台で両方実現となったが、植田に対応できる。ターボマネージャーは納入作冷凍機は電着塗装槽の冷却用に既にあつたが、最新のインバーター式に更新した。

東電EPCは15年に納入を見据えたコンサルターを始め、17年度からは新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の中国での実証事業の一部になった。日本の省エネ技術の海外普及という趣旨にか

【納入先概要】▽所在地 中国広東省佛山市南海区獅山镇長虹鎮工業園虹嶺四路3号▽主要生産品目 建築用アルミ材料▽年間CO2排出量 非公表

た」と振り返る。東電EPCは初の海外法人となるタイ法人を設立し、19年8月に営業を始めた。広東華昌鋁廠向けに培ったノウハウを応用したい考えで、タイのアルミ工場に省エネの提案を始め